新潟県立植物園

ドームみどころマップ 冬

観賞温室第１室（熱帯植物ドーム）の見ごろ植物のご紹介です！

※詳しい開花状況については観賞温室１階受付の見頃状況の掲示板をご覧ください。

★サルオガセモドキ（パイナップル科）

アメリカの熱帯雨林気候区原産の植物。これが植物なの！？と驚くような特異な形をしています。根はなく、空気中の水分や養分を吸収して生活しています。熱帯植物ドームの中のいたるところでご覧いただけます。

★ハイドゥーンツバキ（ツバキ科）

ベトナム原産のツバキ。12 月～１月に開花します。ベトナムでは旧正月にハイドゥーンツバキの花を部屋に飾る風習があります。また、枝にたくさんの蕾がつくことから縁起物とされ、かつては、子孫繁栄を願って新婚夫婦の部屋に飾られました。

★熱帯のシャクナゲ

ツツジ属 コノリ

ツツジ属 サキシコルム

ツツジ属 アウリゲラヌム

シャクナゲの仲間約 1,000 種の原種のうち、約 300 種が熱帯シャクナゲです。ニューギニアやボルネオ、フィリピンなどに自生しています。ヒマラヤや中国、日本などの北半球のシャクナゲには芳香があるものが比較的少ないですが、熱帯シャクナゲの多くは芳香があります。

★オクナセルラタ（オクナ科）

実の形から、別名ミッキーマウスノキと呼ばれます。

★オオベニゴウカン（マメ科）

ボリビア原産、マメ科カリアンドラ属の常緑低木。カリアンドラ属はマダガスカルやインドの熱帯、亜熱帯などに約 200 種あります。オオベニゴウカンはカリアンドラ属のなかでもっともポピュラーで、沖縄にも多く栽培されています。当園では赤花と白花（オオベニゴウカン ‘アルバ’）が植栽されています。